

(三) 謝

日本原毛株式会社従業員父母兄弟諸君に訴ふ

日本原毛株式会社程安い賃銀と悪い待遇で従業員をいぢめる會社は滅多になんせえ。私達は今日まで然る會社に對して要求し概として聞かぬか解りませんけれど、それは皆私達の結束が元分てなかつたのと、會社がするい悪らつのは仕打つ何事も打ちこわされて居ます。

私達は今度とよはと返つて三三名に違する賛成の一致行動を得て四月一日勸諭書も提出した事は既に公認せう。私達も守本會社であらう日本労働組合聯盟東京同労働組合本部から執行委員小松原大郎氏が本據にて會社社長と會見つたし、またを分派する用意もなす。一方工場の中は社員總出で従業員とおどし文句で圧迫して来ましたので、私達は高車かまんなか出さず五月朝の交代時會を期して一斉に罷業を行つて會社の反省を待つ事にしよう。父母、兄弟、諸君、私達は正しい事をやらねばならぬ。會社からは社員がうまい事を言つたまじに来たたり、おどかし文句の書面が飛びかよふに違ひありません。

然し此際を期した會社の務感やおどかしは断乎と一切耳をたてず罷業の要求の貫徹に家族全体で應援仕態をなすべきか。労働組合本部からなる角に通知が飛びまじらわらう。今にドク應援が来さう。

- ▲ 家族が一齊に起つて要求を貫徹せしめよ!!
- ▲ 會社の甘い言葉やおどかし文句に乗るな!!

昭和二年四月五日

日本原毛株式会社多議本部

日本原毛株式会社従業員父母兄弟若位